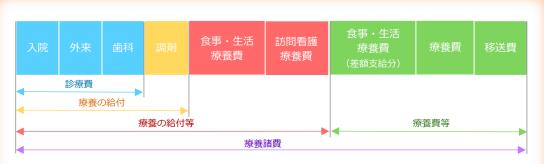




山口県国民健康保険団体連合会

CONTENTS

財政場	犬況	
	山口県の国保会計収支内訳	1
被保障	食者の状況	
1	被保険者数と国保加入率の推移	2
	市町別 被保険者数	2
	令和5年度 被保険者の男女別年齢構成	3
2	令和5年度 人口の高齢化率	3
医療費	費の状況	
1	医療費の推移	4
2	1 人当たり費用額の推移	4
3	保険者別1人当たり費用額	5
4	令和5年度 1人当たり費用額と受診率の相関図	6
5	令和5年度 保険者別医療費諸率	7
6	令和4年度 1人当たり費用額の全国比較	11
保険料	以(税)・保健事業費の状況	
1	1 人当たり調定額の推移	12
2		12
3	市町別 収納率	13
4	令和5年度 市町別1人当たり保健事業費	13
後発图	医薬品の利用状況	
	保険者別ジェネリック医薬品利用率(令和5年9月診療分)	14
特定條	建診・特定保健指導の状況	
1	市町別 特定健診受診率・特定保健指導終了率	15
2	令和5年度 特定健診受診率の全国比較	16



- ※年間費用額(診療費、一人当たり費用額等)は3月~2月診療分で表示
- ※受診率:100 人当たり。受診件数÷被保険者数(年間平均)×100 で算出
- ※小数点以下第3位を四捨五入

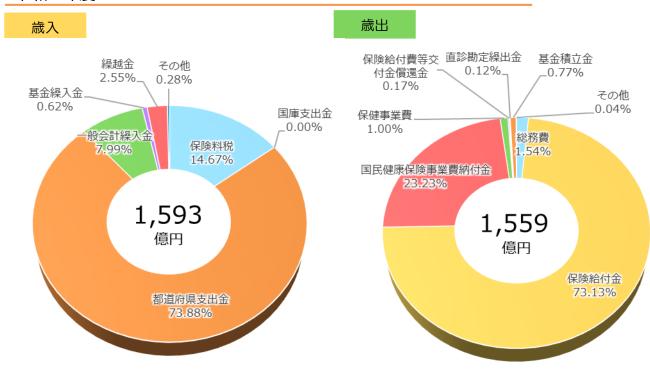
(特定健診受診率、特定保健指導終了率のみ小数点以下第2位を四捨五入)

財政状況

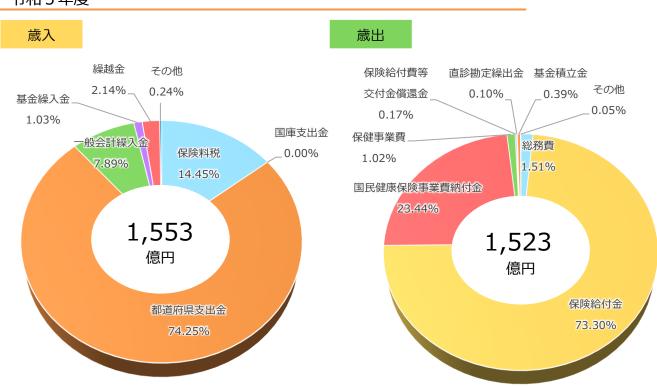
山口県の国保会計収支内訳(市町)

平成 30 年度から国保財政の運営主体が都道府県となり、歳入、歳出とも大きく変容した。 令和 5 年度の収支差引額は約 30 億円となっており、前年度に比べて約 4 億円減少している。

令和4年度



令和5年度

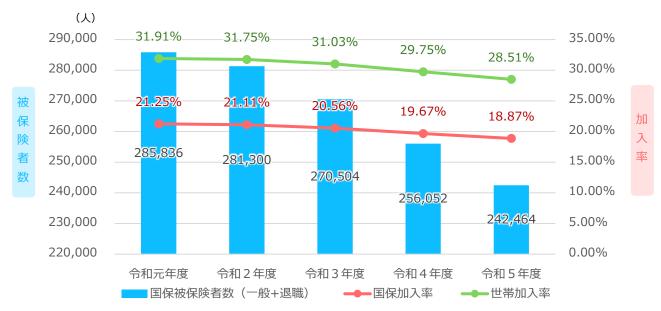


※表示単位未満は四捨五入のため、必ずしも 100%とならない ※市町分のみ(国保組合除く)

被保険者の状況

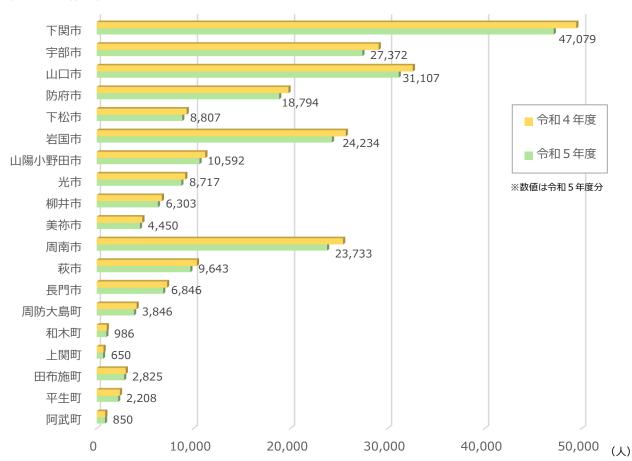
1 被保険者数と国保加入率の推移

国保被保険者数は年々減少傾向にあり、令和5年度は、令和元年度と比較すると約15.2%減(43,372人減)、前年度と比較すると約5.3%減(13,588人減)となっている。 市町別の国保被保険者数についても、全市町で被保険者数は減少している。



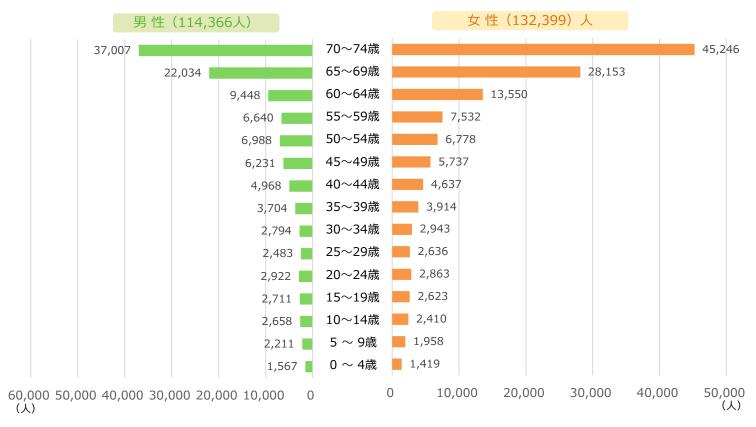
出典:国民健康保険事業状況(速報値)及び山口県人口移動統計調査 ※令和6年3月末現在、国保組合含む

市町別 被保険者数



出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※令和6年3月末現在

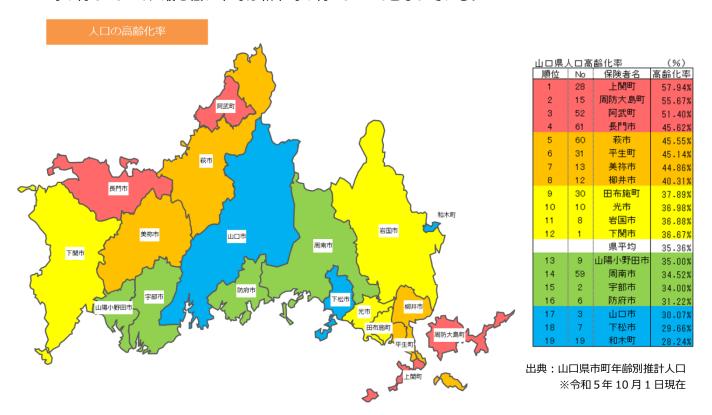
令和5年度 被保険者の男女別年齢構成



出典:国保被保険者マスタ(令和6年3月末現在) ※事業状況の数字とは必ずしも一致しない

令和5年度 人口の高齢化率

山口県の高齢化率(65歳以上の占める割合)は35.36%。市町別に比較すると、最も高い市町は上関町の約57.94%、最も低い市町は和木町の約28.24%となっている。



医療費の状況

1 医療費の推移

総医療費は、国保被保険者の減少に伴い、年々減少傾向にある。 令和5年度は、前年度に比べて約2.6%減(約34億円減)の約1,296億円となっている。

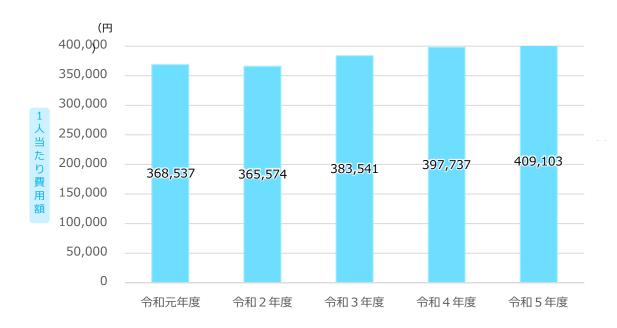


出典:国民健康保険事業状況(速報値)

※療養諸費で算出

1人当たり費用額の推移

1 人当たり費用額は、令和元年度と比較すると約 40,566 円増となっている。 前年度と比較すると約 2.9%増(11,366 円増)の 409,103 円となっている。

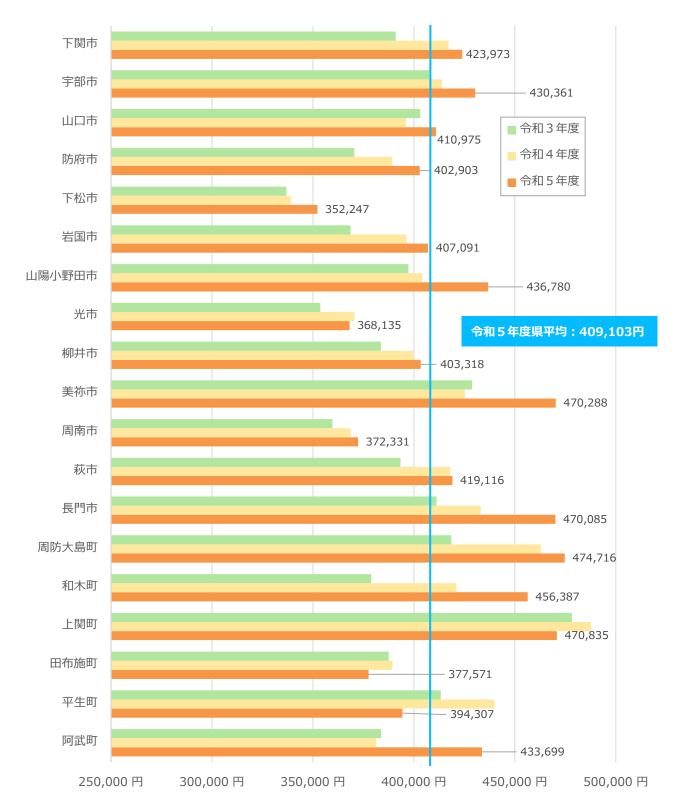


出典:国民健康保険事業状況(速報値)

※診療費(医科+歯科)で算出

3 保険者別1人当たり費用額

保険者別に 1 人当たり費用額を比較すると、令和 5 年度は周防大島町が 1 番高く(474,716 円)、次いで上関町、美祢市が高くなっている。



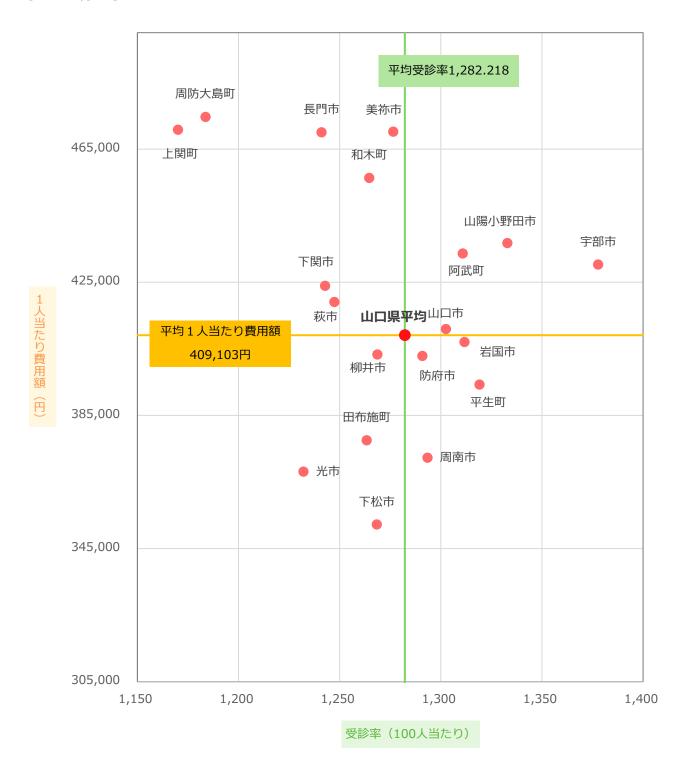
出典:国民健康保険事業状況(速報値)

※診療費(医科+歯科)で算出

※参考: 医師国保組合は一人当たり費用額 196,444円

4 令和5年度 1人当たり費用額と受診率の相関図

下のグラフは、1人当たり費用額を縦軸、受診率を横軸として、それぞれの関係性をグラフにしたものである。下松市、光市、柳井市、田布施町は受診率と 1 人当たり費用額が、どちらも平均を下回っていることが分かる。

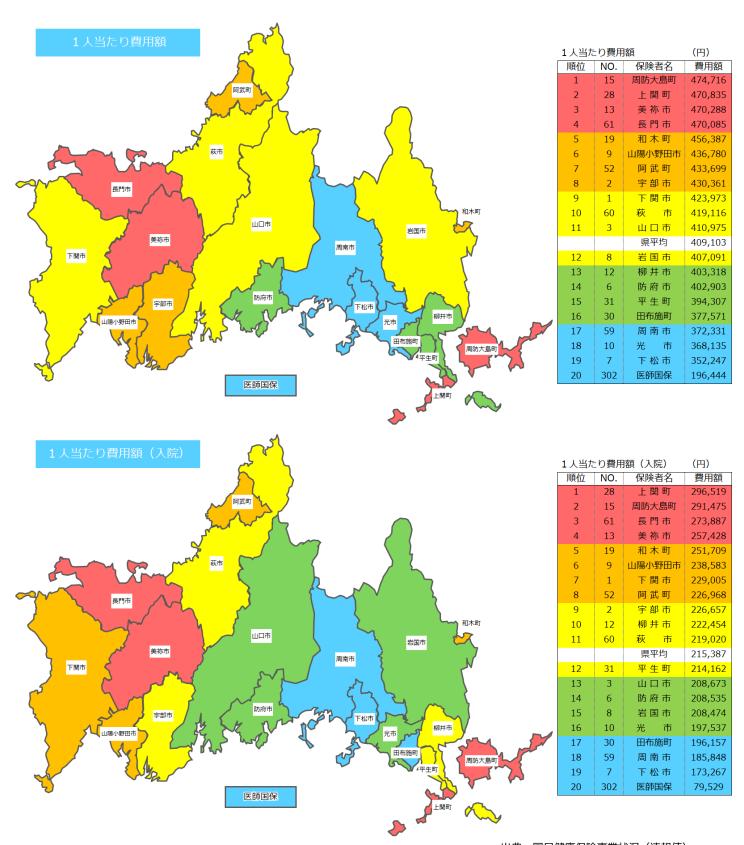


出典:国民健康保険事業状況(速報値)

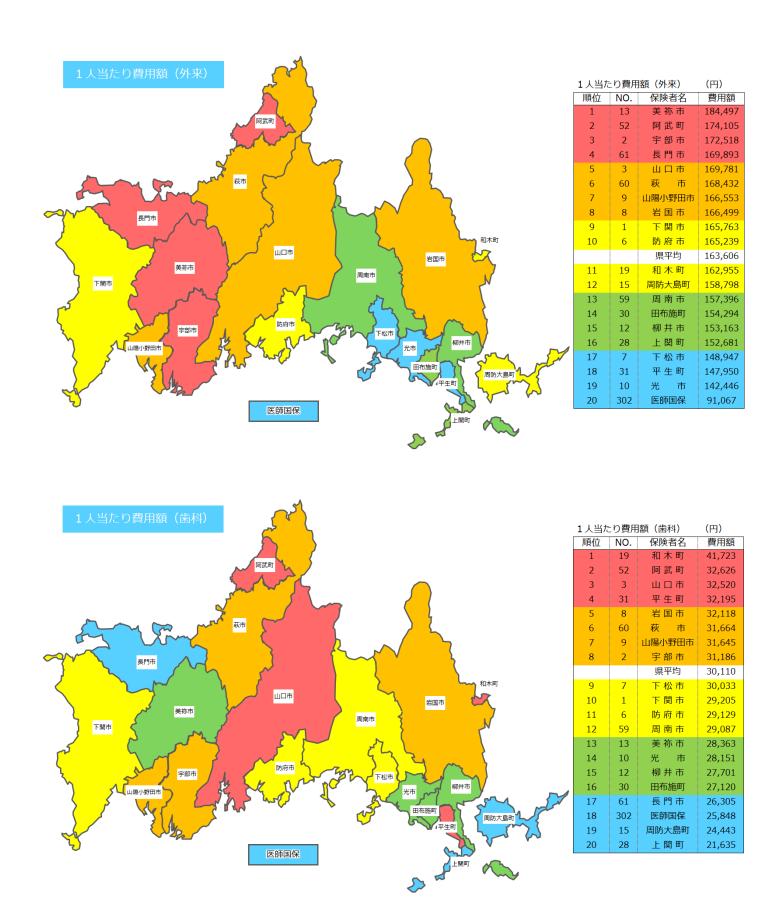
※診療費(医科+歯科)で算出

5 令和5年度 保険者別医療費諸率

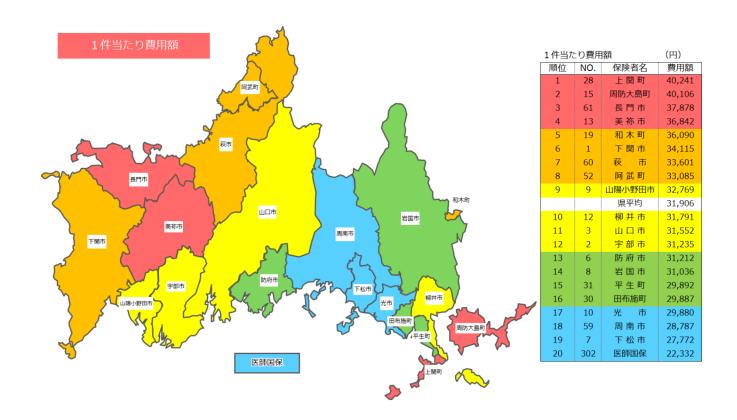
1人当たり費用額を見ると、入院では上関町が最も高く、外来では美祢市が最も高くなっていることが分かる。歯科では、和木町、次いで阿武町が高くなっている。 受診率は、市町別では宇部市が最も高く、上関町が最も低い。

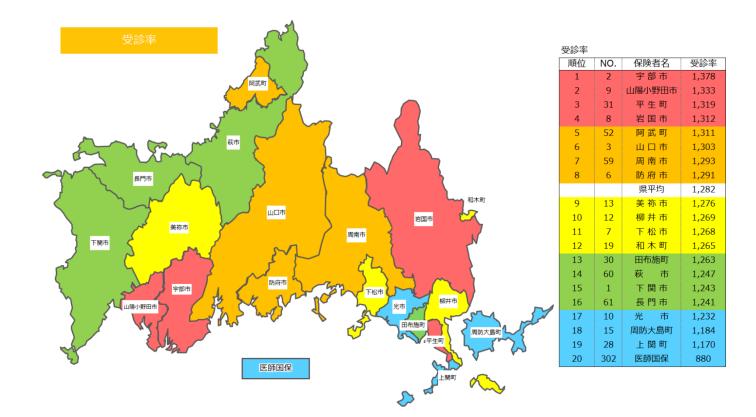


出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※診療費(医科+歯科)で算出

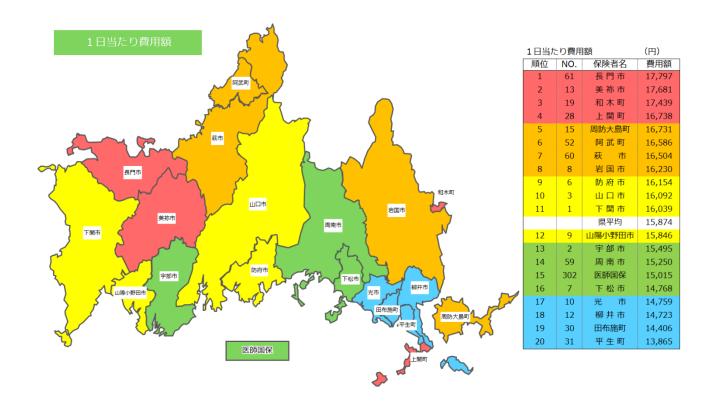


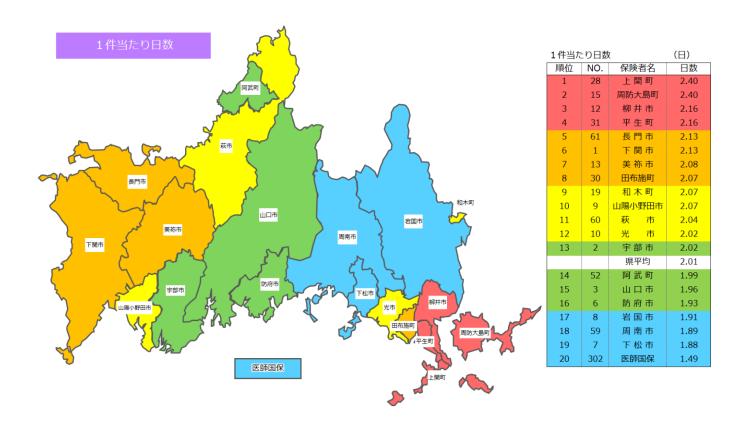
出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※診療費(医科+歯科)で算出





出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※診療費(医科+歯科)で算出



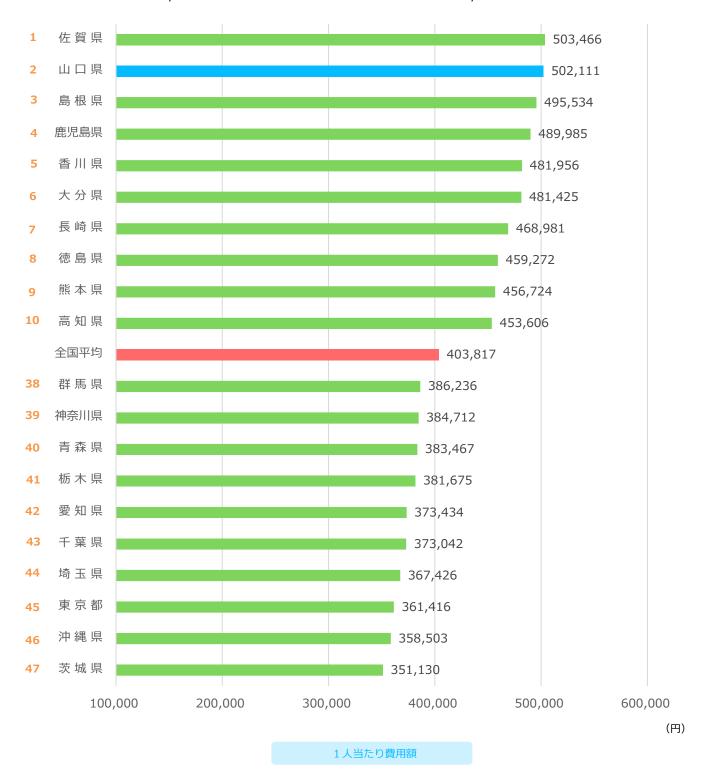


出典:国民健康保険事業状況(速報値)

※診療費(医科+歯科)で算出

6 令和4年度 1人当たり費用額の全国比較

全国の1人当たり費用額を比較すると、山口県は2番目に高い県となっている。 平均と比べると98,294円高く、最も低い茨城県と比較すると150,981円高くなっている。

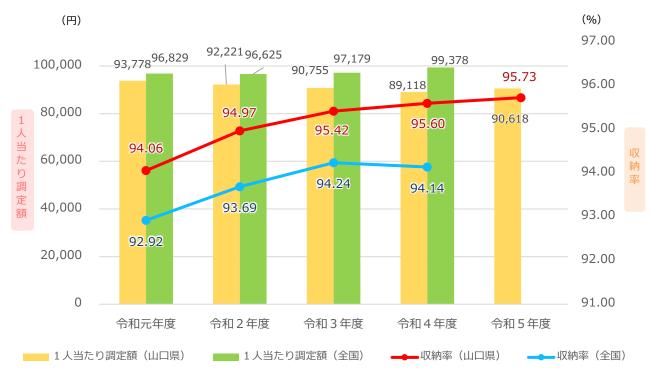


出典:厚生労働省「国民健康保険事業年報」 ※療養諸費で算出(実績医療費。地域差指数は含まない) ※市町分のみ(国保組合除く)

保険料(税)・保健事業費の状況

1 1人当たり調定額の推移

1人当たり調定額について、山口県は全国平均と比べると令和4年度は10,260円下回っている。 保険料の収納率については、年々増加傾向にある。



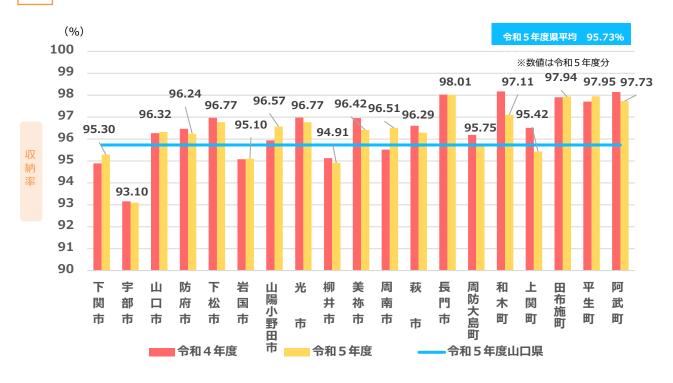
出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※市町分のみ(国保組合除く)

2 市町別 1人当たり調定額



出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※市町分のみ(国保組合除く)

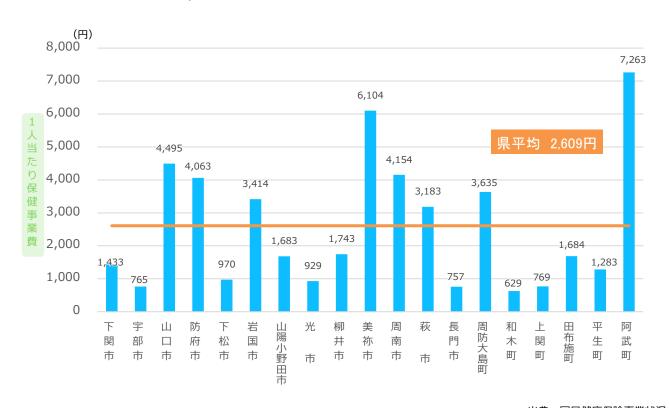
3 市町別 収納率



出典:国民健康保険事業状況(速報値) ※市町分のみ(国保組合除く)

4 令和5年度 市町別1人当たり保健事業費

1人当たり保健事業費について、山口県の平均は 2,609 円。 最も高いのは阿武町の 7,263 円となっている。

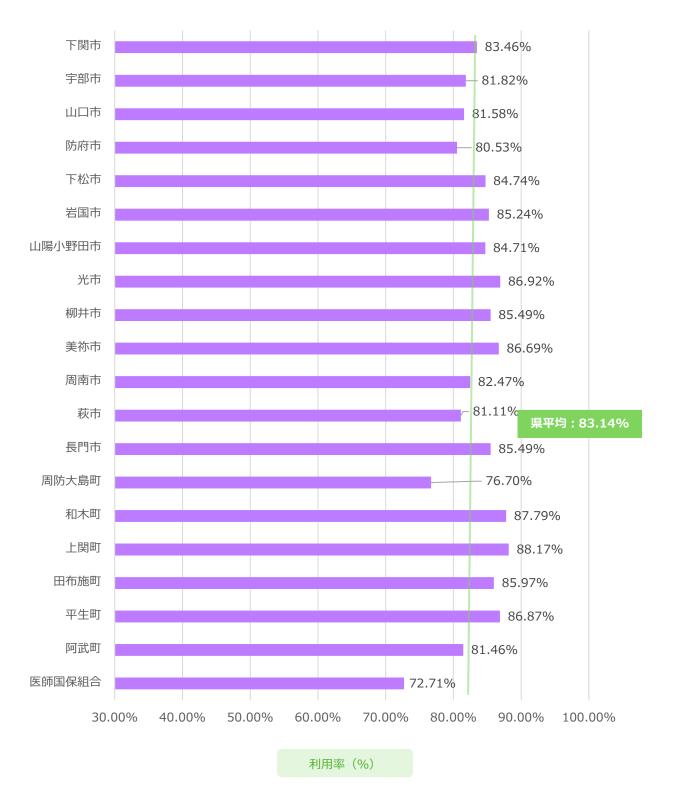


出典:国民健康保険事業状況 ※市町分のみ(国保組合除く) ※特定健診は含まない

後発医薬品の利用状況

保険者別ジェネリック医薬品利用率(令和5年9月診療分)

ジェネリック医薬品の利用率については、県平均で83.14%となっている。最も利用率が高い保険者は上関町の88.17%で、18市町が利用率80%を超えている。

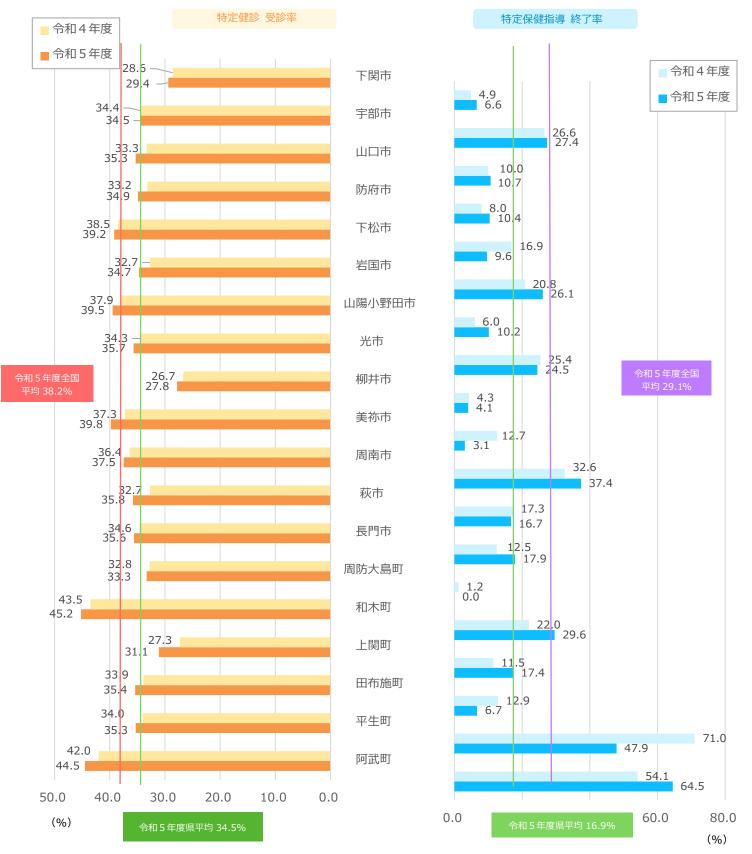


出典: 厚生労働省「保険者別の後発医薬品の使用割合」 ※診療月は令和5年9月診療分

特定健診・特定保健指導の状況

1 市町別 特定健診受診率・特定保健指導終了率

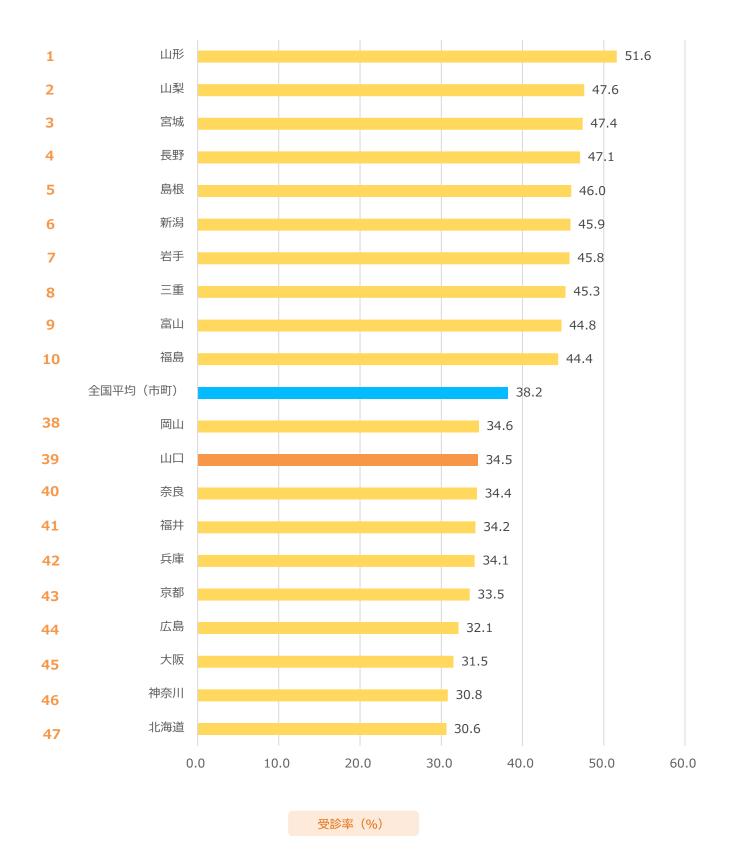
特定健診受診率について、令和5年度の山口県平均受診率は34.5%で、最も伸び率が大きいのは、上関町の3.8 ポイントとなっている。また、特定保健指導終了率の伸び率が最も大きいのは阿武町となっている。



出典:国保中央会資料「市町村国保 都道府県別特定健康診査実施状況 (速報値)」、特定健診等データ管理システム ※市町分のみ (国保組合除く)

2 令和5年度 特定健診受診率の全国比較

山口県の特定健診受診率は 34.5%となっており、前年度の 33.2%を 1.3 ポイント上回っている。全国平均 38.2%と比較すると 3.7 ポイント低い状況となっている。



出典:国保中央会資料「市町村国保 都道府県別特定健康診査実施状況(速報値)」 ※市町分のみ(国保組合除く)



令和7年5月発行

山口県国民健康保険団体連合会

〒753-8520 山口市朝田 1980 番地 7

TEL: 083-925-2003

